

## 電気工事士法施行令の一部を改正する政令（案）に対する意見公募の結果について

令和7年11月14日

経済産業省 産業保安・安全グループ 電力安全課

経済産業省では、電気工事士法施行令の一部改正について、令和7年9月11日から同年10月11日まで意見公募手続を実施しました。その結果は、以下のとおりです。

今回の意見募集に当たり、御協力いただきました方々へ厚く御礼申し上げますとともに、今後とも電力保安行政の推進に御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

### 1. 意見募集の実施方法

- ・募集期間：令和7年9月11日（木）～令和7年10月11日（土）
- ・告知方法：電子政府の総合窓口「e-Gov」における掲載
- ・意見提出方法：電子政府の総合窓口「e-Gov」、郵送及び電子メール

### 2. 意見募集の結果

意見提出件数：2件

### 3. 提出意見及び提出意見に対する考え方

別紙のとおり

### 4. お問い合わせ先

経済産業省産業保安・安全グループ電力安全課

電話番号：03-3501-1742

(別紙)

提出意見及び提出意見に対する考え方

1	<p>近年、電気工事士業界の人手不足が深刻化している。そのために、受験回数が年2回になったことや、CBT方式での受験など、対応されたことには歓迎する。</p> <p>今回のパブリックコメントでは、「人件費、試験会場の賃借料その他試験会場設備運営費が増大したこと等から」引き上げることにおおむね賛成である。</p> <p>しかし、今回の受験料の引き上げにより、電気工事士を目指そうとする若い方が、経済的な負担を理由に、電気工事士試験の受験を躊躇してしまうことを懸念する。</p> <p>そこで、例えば高校生や大学生などの学生の方は、電気工事士の受験料を、据え置くか引き上げ幅を縮小すべきだと考える。</p> <p>いわゆる「学割」のような制度を導入すべきだと考える。若い方が電気工事士となられ、人材不足が解消することを願っている。ぜひご検討頂きたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、電気工事士を目指される若い方が受験しやすくすることは重要と考えております。他方、受験者の公平性への配慮も必要と考えております。引き続き受験者数の確保に努めてまいります。</p>
2	<p>①受験機会の拡大（年1回→年2回）</p> <p>第一種電気工事士試験の件だと思われませんが、年間の受験者数、合格者数ともに微増（令和3年度よりやや減）にとどまっていることから年1回で十分だと思います。本理由で値上げするのであれば年1回に戻し、値上げ幅の圧縮又は値上げの取り直しをお願いします。</p> <p>また、学科試験にはCBT方式を導入し受験機会の拡大を成し遂げていると思いますが、技能試験に関しては受験機会の拡大をされておられません。技能試験についても所定の会場で通年で実施するなどの工夫をされてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>第一種電気工事士試験の受験者数及び合格者数については、コロナウイルス感染症流行後の令和3年度以降においても、年々減少傾向にあり、将来的な電気工事士人材の確保に向けた対応策として、学科試験の免除回数の増加とともに、試験の年2回化を令和6年度より導入してきたところで</p>

		<p>す。</p> <p>その際、第一種電気工事士試験における上期の学科試験については、C B T 試験のみとする等、コストを抑える様工夫してまいりました。</p> <p>今後も引き続きコスト削減と受験機会拡大については検討を続けてまいります。</p>
	<p>②試験会場の賃借料、運営費</p> <p>令和5年度から学科試験では CBT 方式を導入しておりますが、技能試験に関しては従来の方式のみとなっております。技能試験に関しても CBT 方式と同様に所定の会場で通年で実施するなどの工夫をしてほしいです。</p> <p>技能試験の材料も在庫として保管されているものがかなりあり、保管料の圧縮につながると考えます。</p> <p>CBT 方式に関しても実施している期間が長くても1か月程度と非常に短いです。ほかの団体では通年で実施しているものもありますので、受験機会の拡大を目指すのであれば通年で実施をお願いします。また、ルビについても筆記方式のほうでは対応されているようなので、CBT 方式でも実施されてはいかがでしょうか。外国人の方が CBT 方式を選択しやすくなると思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>C B T 方式の試験については試験の実施期間の拡大や、試験問題へのルビの追加等、受験機会拡大に向けた検討を続けてまいります。</p> <p>技能試験の通年実施に関するご意見については、今後の受験機会の拡大に向けての参考とさせていただきます。</p>
	<p>③試験センターの事業報告書について</p> <p>コスト削減が照明設備の LED 化のみというのは企業努力が足りないと思います。ホームページなども更新されたようですが、そもそも必要だったのでしょうか。また、役員報酬についても減らすべきではないでしょうか。電気技術者試験センターが長年試験業務を実施していることの弊害になっているのではないかと思います。他に実施できる機関を公募するなどの試みを実施してはいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>不断のコスト削減等の経営努力は重要と考えており、引き続き取組を進めてまいります。</p>

